

酒井茂の県政だより

発行責任者: 酒井 茂 〒399-4432 伊那市東春近原新田8243 TEL/FAX.0265-73-5606



高校教育における少人数学級の違いや、③都市部大規模校における小規模化の影響について、分かりやすく地域に説明すべきと考える

2月県議会 一般質問 (令和3年2月26日)



高校改革

高校改革・高校再編

・地域住民それぞれの思いがある中で、高校改革の必要性について地域住民に説明し、理解を深めていくことが肝要である。

◎酒井・高校改革の必要性に係る理解を深めるため、①「国立社会保障・人口問題研究所」の人口推計を活用するなどして、できるだけ中長期の少子化の推計を示しながら、②義務教育と

か？

◎教育次長・①酒井議員が提案する中長期のトレンドなども参考にしながら説明していく。

◎義務教育では、固定したクラスごとの学習が基本となるため、30人規模の少人数の学級編成をしている。一方高校教育では、生活集団のクラスとは別に、様々な学習集団を編成するため、生活集団のクラスを敢えて少人数とする必要はないと考える。

◎小規模化は教員配置数が縮小し、例えば理科を例にとると専門性を有する教員数が8学級規模の学校においては8〜9人程度、4学級規模の学校では3人程度となり、各分野の科目の講座開設数などに大きく影響する。クラブ活動は選択肢が狭められ、しまうことなどの影響がある。

再編統合による新校

(1)校舎等の整備
・「県の財政状況が悪化していることから、再編整備に必

要な財源を確保することは無理」との声もあることから、再編による校舎整備等に関する県の姿勢を明確に示すべき。

◎酒井・施設整備に要する財源の確保について、中長期的な考え方は？

◎知事・地方交付税措置のある地方債を活用するなど、将来世代に過度な負担とならないように意を用いていく。

(2)募集定員

・旧第8通学区では、志望に見合った定員が確保されていないとの声や、旧通学区内の総定員が確保されていないために、他の通学区に流出せざるを得ないとの声がある。

◎酒井・旧第8通学区における現行の募集定員は、どのように決定されてきたのか？

◎教育長・募集定員は、中長期的な推移を見通しながら、全ての子どもたちに学びの場が保障されるよう策定。中学校卒業予定者数を基本とし、普通科と職業科のバランスを考慮しながら、

過去の志願者数及び入学者数の状況、隣接通学区の流出入学者数や空き定員の状況、私立高校の募集定員等を根拠としながら決定している。

◎酒井・地域内の高校配置が変容することから、普通科と専門学科などの地域全体の募集定員について、分かりやすい説明をすべきでは？

◎教育長・都市部における新校の標準規模を普通科では1学年6学級以上が望ましく、8学級規模の設置も目指している。新校の募集定員の設定は、将来的な少子化の推移、地域内の普通校と専門校のバランス、隣接通学区との流入の変化なども考慮して、総合的に検討する。検討内容については地域に分かりやすく丁寧に説明していく。

※提案を受けて、県教委は丁寧に分かりやすく説明する方針を明らかにしました。

大 学

長野県立大学の卒業後の県内就職

◎酒井・長野県立大学は、地域貢献の一環として卒業生の県内就職を促進する目標を掲げているが、これをどう評価するか？

◎知事・結果として県内就職が高まることが重要。県としては学生が就職したくなる企業が増えるようにすることなどに努力する。

◎酒井・現在の大学の中期計画を見直して、目標値を定めることを提案するが？

◎県民文化部長・目標値の設定については、まずは来年度からの初の卒業生の就職状況を見た上で考えたい。

長野県看護大学の卒業後の県内就職

・過去には7割程度あった県内就職率も、年々低下する傾向にある。

・長野県においては、看護人材は平時でも不足していることから、感染症対策を含めた長野県の医療を守るためにも、看護大学の卒業生の県内就職を促進すべき。

◎酒井・看護大学は、卒業生の県内就職を促進する目標を掲げているが、これをどう評価し、今後どのように改善する方針か？

◎健康福祉部長・県内の看護師不足が見込まれる中で、大学の県内への就職が確保できていない。今後は学生のニーズを踏まえつつ、大学として計画的にキャリア形成支援などを実施することにより、結果として県内就職の促進が図られるよう取り組む。

※提案を受けて、両大学卒業生の県内就職率を改善する方向が確認できました。

議会役職

総務企画警察委員会 委員長に就任

令和3年3月17日、委員長に指名されました。任期は1年。



伊那北高校



伊那弥生ヶ丘高校